



# 株主通信

2008年11月

## H<sub>2</sub>Oリテイリンググループの基本理念

地域住民への生活モデルの提供を通して、  
地域社会になくてはならない存在で  
あり続けること

### 社名の由来について

当社グループの企業理念である

「地域社会になくてはならない存在であり続けること」をふまえ、

地球環境になくてはならない存在である

“水”(H<sub>2</sub>O)に置き換えて表現しました。

## CONTENTS

トップメッセージ	2
新たなグループ体制	3
高島屋との業務・資本提携	4
<b>特集 西宮阪急 誕生</b>	<b>5</b>
スーパーマーケット事業	9
大型プロジェクトの進捗状況	11
2008年度 第2四半期決算のご報告	12
2008年度 通期業績予想	12
『株主優待』がスタート	13
株式の状況	14
アンケートへのご協力をお願い	14
会社概要	14



表紙のパーシメージは  
11月26日にオープンした  
西宮阪急です。



代表取締役社長 わかばやし 若林 じゅん 純

2008年度上半期における当社グループの業績は、個人の消費マインドが低下する中、2月に開業した阪急百貨店メンズ館が引き続き好調に推移したのに加え、阪神百貨店グループの上半期の業績が加わった結果、連結売上高は前年同期に比べ26%の増収、各利益も増益となりました。

昨年10月の(株)阪急百貨店と(株)阪神百貨店の経営統合以降、システム統合や諸制度の整合など、統合作業を進めてまいりましたが、統合効果の早期実現と最大化を図るため、本年10月1日に、両社を合併いたしました。

同時に、スーパーマーケット事業でも、中間持株会社であった(株)阪食と食品スーパー等の事業会社4社の合併や、レストラン事業の子会社3社の合併など、

事業再編を進めました。

下半期につきましても、消費環境はますます厳しくなると考えておりますが、「GP10(グランプリテン)計画 ver.2」を着実に推進してまいります。その一環として、11月26日には、関西ドミナント化戦略を強化するため、「阪急西宮ガーデンズ」(兵庫県西宮市)に核テナントとして売場面積約25,000㎡の西宮阪急を出店いたしました。

また、10月10日には、将来のさらなる成長を見据え、株式会社高島屋と経営統合を目指した業務提携および資本提携に合意いたしました。今後は、新しい体制のもと、高島屋との業務提携を進めながら、GP10計画の目標達成に向けて取り組んでまいります。

株主の皆様には、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 2008年10月1日、 新たなグループ体制でスタート

当社グループでは、2007年10月の阪急百貨店と阪神百貨店の経営統合に伴い、長期事業計画「GP10計画 ver.2」を新たに策定しました。本年10月1日、その目標達成に向け、グループ体制を一新いたしました。

## 百貨店事業

### (株)阪急阪神百貨店誕生

経営統合以降、システム、組織、諸制度の統合を進めてまいりましたが、これらの基盤を最大限に活用し、統合効果の最大化を図るため、本年10月1日付けで(株)阪急百貨店と(株)阪神百貨店を合併し、あらたに(株)阪急阪神百貨店としてスタートしました。

より効率的・効果的な運営を行いながらも、阪急は阪急らしく、阪神は阪神らしく、それぞれのブランドの個性を明確にしなが、お客様のご期待にお応えしてまいります。

新しいシンボルマークができました



☎ 阪急阪神百貨店

H2Oリテイリングのシンボルマークと同じく、凸型は攻防の“攻”を、そして阪急百貨店、阪神百貨店、つまり2つのHが協力し合って力強く前進することを表現しています。

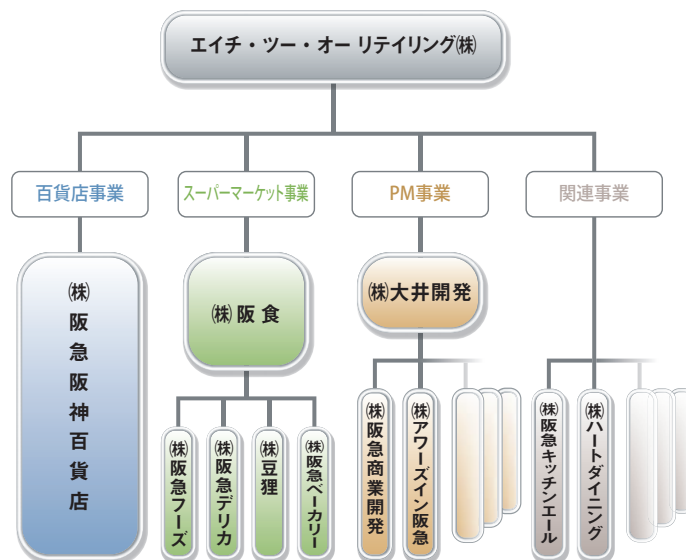
## スーパーマーケット事業

### (株)阪食は事業持株会社へ

中間持株会社である(株)阪食とその子会社の食品スーパーを運営する(株)阪急オアシス、(株)阪急ファミリーストア、(株)阪急ニッショースタ、そして共同調達を行う(株)阪急フレッシュエールを合併しました。

新しい体制のもとで、より効率的にスーパーマーケット事業を拡大していきます。

■10月1日以降の当社グループ



# 高島屋との経営統合を目指し、 業務・資本提携に合意



10月10日、株式会社高島屋と当社は、経営統合を目指して、業務提携および資本提携を行うことに合意しました。

今後、少子高齢化の進展やライフスタイルの多様化など、小売を取り巻く環境はますます厳しくなり、百貨店をはじめとする小売業は、その変化への的確かつ迅速な対応が求められています。

このような状況において、両社のもつ経営資源・ノウハウを共有化・相互活用し、関東・関西を中心とした



10月10日、業務提携および資本提携を発表



強力な店舗ネットワークを構築することで、持続的な成長を図っていこうと考え、今回の提携に至りました。

今回の提携を通じて、阪急百貨店、阪神百貨店、そして高島屋が、お客様にさらに支持される魅力ある店づくりを進めていくことができると考えております。

今後は、業務提携委員会のもと、具体的なプランを策定し、それぞれの企業体質の強化を図りながら、3年以内の経営統合を目指してまいります。

特集: 2008年11月26日、

# 西宮阪急 誕生。

2008年11月26日、兵庫県西宮市の阪急西宮北口駅前に開業した西日本最大のショッピングセンター「阪急西宮ガーデンズ」に、新しい“阪急百貨店”が誕生しました。



お店の魅力について  
佐藤店長に話を  
聞きました。

(株)阪急阪神百貨店  
西宮阪急店長

さとう ゆきちか  
佐藤 行近



## ストアコンセプトは“西宮上質生活”

今回出店する西宮(兵庫県西宮市)を中心とするエリアには、阪神間でも特に「洗練された都会的感性」と「代々受け継がれた成熟した日常生活のスタイル」をお持ちの方が多くいらっしゃいます。西宮阪急は、そのような方々に対して、「暮らしの中の様々な生活シーンにおけるこだわりのライフスタイルを提案する店」というコンセプトで店づくりを進めました。

たとえば、「こどもの豊かな情操を育む」、「ゆとりの時



西宮阪急 フロア構成

4F	紳士服洋品 / ベビー・子供服 / 阪急ハロードッグ
3F	婦人服 / イングス・ウォーク
2F	婦人服 / 服飾雑貨
1F	食料品 / 家庭用品

間で自分磨きを楽しむ」、「健康に良い食生活にこだわる」といった、こだわりのライフスタイルに欠かせない“モノ”の品揃えに加え、暮らしのヒント、専門家のノウハウ、作り手の思いなど“コト”の提案を充実させていきたいと考えています。

## 上質な日常を提案する売場やイベントがいっぱい

具体的には、料理研究家や地元のボランティアなど、多くの専門家にもご協力をいただきながら、お客様の生活スタイルに合わせ、「食文化」「健康」「おしゃれ」「子育て」などをテーマにした教室や体験の場を店内に40箇所ほど設けて、お店とお客様、お客様同士でのコミュニ

ケーションがとりやすい環境を提供しています。また、“環境にやさしい”、“体にやさしい”食生活を提案する食料品売場や愛犬とのライフスタイルを提案する売場など、新しい売場づくりにチャレンジするとともに、ゆったりとしたパウダールームやフィッティングルームなど、快適な店内環境にも配慮しています。

是非、新しい“阪急百貨店”にお立ち寄りください。



### 西宮阪急 店舗概要

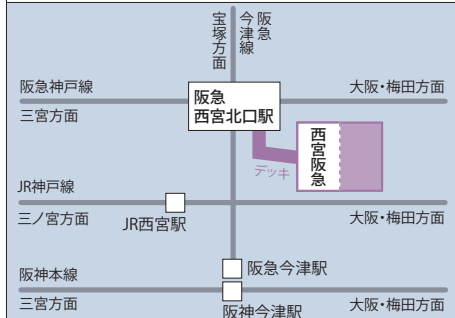
所在地 兵庫県西宮市高松町14番1号

代表電話 0798-62-1381

営業時間 10:00~20:00

営業面積 25,000㎡

初年度売上目標 200億円



## 上質生活をサポートする新しい提案がいっぱい。

西宮阪急が特に注目していただきたい売場やサービス。

「上質生活セレクト10」をご紹介します。

### 1 コトコトステージ40〈各階〉



お客様の生活スタイルに合わせて、「食文化」や「健康」、「おしゃれ」、「子育て」などをテーマに、店内の約40箇所の「コトコトステージ」で、暮らしのヒントや専門家のノウハウ、作り手の思いなど、様々なプログラムを毎日ご提案します。

### 2 子育てコミュニティーパーク〈4階〉



知育・体育・徳育の健全な成長をサポートするために、絵本の読み聞かせや育児相談会などを毎日開催。地域の専門家やボランティアの方々と一緒に「子育てコミュニティー」をつくっていきます。

### 3 阪急ハロードッグ〈4階〉



愛犬は家族の一員です。「健康」「癒し」「ファッション」「しつけ」「預かり」など、愛犬に関するすべてのニーズにお応えします。

### 4 ナチュラルセラー〈1階〉

安心・安全で、環境にも配慮した食のセレクトショップです。「オーガニック」「地産地消兵庫産」「伝統づくり」「添加物使用制限」の4つの品揃え基準で身体にやさしいものを集めました。



### 5 オステリア ジュリア〈3階〉

1994年、1日1組のレストランとしてオープン以来、遠方のお客様からも絶大な支持を誇った名店「レストランテ ロアジ」のオーナーシェフ永松信一氏が、新たなコンセプトで作る本格派イタリアンスローフードのレストランです。





## 6 イングス・ウオーク〈3階〉

「健康のために歩く」「楽しく歩く」「おしゃれに歩く」といった歩くライフスタイルをお楽しみいただくために靴のコンサルティングからウォーキングコースの紹介まで、ウォーキングに関することのすべてをご提案。



## 7 アートジュエリーギャラリー〈2階〉

作家が素材を厳選し、1点1点すべて手づくりしたアートジュエリーを集めました。

## 8 洋服のケアメンテナンスサロン〈3階〉

「お気に入りのアイテムを永く大切にしたい」というニーズに応えるため、洋服を1点1点100項目以上のポイントをチェック。出来上がりにご満足いただける、技術にこだわったサロンです。

## 9 シンデレラパウダールーム〈3階〉

女性の肌の美しさを引き立てる、こだわりの照明を採用した3階のパウダールームでは、くつろいでお化粧品直しをしていただくためのスペースをご用意。



## 10 サロンフィッティングルーム〈3階・4階〉



屋内ではわかりにくい色目の商品も、自然に近い2種類の照明で着こなしをチェックできるフィッティングルームです。

西日本で最大のショッピングセンター

## 阪急西宮ガーデンズ

阪急電鉄株式会社が開発した「阪急西宮ガーデンズ」は、西宮阪急のほかにTOHOシネマズ西宮OS、総合スーパーのイズミヤと専門店をあわせて268店舗が並ぶ西日本最大のショッピングセンターです。

### ザ・ナショナル・トラスト

ショッピングセンター内には、阪急百貨店うめだ本店でも人気のあった「ザ・ナショナル・トラスト」が装いも新たにオープン。こちらもぜひお立ち寄りください。



### nagomi cafe furacoco (ナゴミカフェフラココ)



子会社の(株)ハートダイニングでは、ショッピングセンター内に創作和スイーツと和パスタの店をオープン。和のエッセンスを取り入れたスイーツとパスタを、ゆったりとした環境でお楽しみいただけます。

#### 阪急西宮ガーデンズ 概要

営業時間	西宮阪急	10:00~20:00
	専門店・イズミヤ	10:00~21:00
	4階飲食店	11:00~23:00
	TOHOシネマズ	9:00~24:00
		(一部店舗を除く)

店舗数 268店舗  
駐車場 約3,000台

## スーパーマーケット事業 新しい取組みについて

### 価格、品質にこだわった 2つのPB商品を販売開始

(株)阪食では、従来のプライベートブランド(PB)商品「ザ・阪急」に替えて、価格、品質にそれぞれこだわった2つのPB商品の販売を開始しました。今後、種類を増やして展開していきます。是非一度ご賞味ください。



#### お買い得価格の 「阪急ハートフルデイズ」

様々な商品が値上げされ、お客様の価格に対するニーズが高まる中、毎日の生活の中に欠かせない商品を“安心”“安全”“高質”、そして“お買い得価格”でお届けする「阪急ハートフルデイズ」の販売をスタートしました。



#### 素材・製法にこだわった 「阪急プライムタイム」

素材・製法にこだわり、より高品質な“百貨店グレード”の商品をリーズナブルな価格でご提供する「阪急プライムタイム」。11月末よりH2Oリテイリンググループの百貨店・食品スーパーで順次販売していきます。こちらも是非お試しください。



阪急デリカ池田新工場

### 新しい工場で惣菜事業を強化

(株)阪食デリカでは、惣菜事業の強化を図るため、大阪府池田市に新工場の建設を進めています。新工場は、安全な食品を提供するため、衛生管理に配慮した設計となっています。

グループの食品スーパーや百貨店に惣菜・弁当を製造するとともに、店舗と同じ調理器具を設置したトレーニングセンターを設置し、従業員の調理研修も実施していく予定です。

## 食育活動への取り組み

“食育”とは、食に関する知識を習得し、自らの食を自分で選択する判断力を身につけるための取り組みのことです。

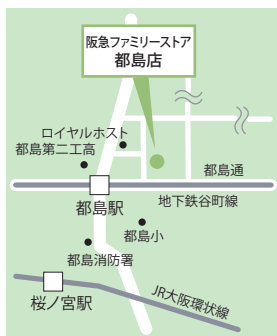
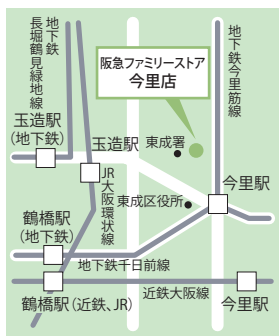
(株)阪食では、食育活動を推進するため、「食育コミュニケーター※」という資格を持つ従業員を各店舗に配置し、ご来店いただいたお客様に、おいしくて簡単に作れるオリジナルメニューなど、「食」について、様々な提案をしています。それ以外でも、グループとして、料理教室・工場見学・収穫体験・食育セミナーなど、様々なイベントを通して、「食の楽しさ」「食の大切さ」をお伝えしています。

### ※食育コミュニケーター

日本食育コミュニケーター協会が認定した専門資格をもつ人たち。当社スーパーで資格保有者は現在百数十名。



お店でピンクのエプロンを付けた従業員が「食育コミュニケーター」です。お気軽にお声がけください。



## 新店舗紹介

(株)阪食では、本年5月に阪急ファミリーストア今里店をオープン。また、11月末には、都島(大阪市都島区)に新店がオープンします。

これからも皆様のお近くに順次出店してまいります。

## 大型プロジェクトの進捗状況

2009年秋のI期新店開業に向けて

### 阪急百貨店うめだ本店 建て替え工事プロジェクト

2005年秋より本格化した、阪急百貨店うめだ本店の建て替え工事では、いよいよI期棟(南側部分)の姿が見えてきました。

現在、30階まで工事が進んでおり、百貨店部分については、ほぼ外壁もできあがりました。外壁は、写真のように、阪急百貨店が誕生したときに使われたタイルをベースにした落ち着いたレンガ色になっています。

また、今回の建て替え工事により、百貨店地階と周辺地下街はバリアフリーになり、利便性もよくなります。

来年秋にはI期新店が開業予定ですので、楽しみにお待ちください。



(※写真は2008年9月時点)



(※写真は2008年10月時点)

2011年春開業に向けて

### 博多出店プロジェクト

2011年春開業に向けて、JR博多駅ビルの工事も急ピッチで進んでいます。

現在、4～5階部分の躯体工事を進めておりますが、周辺地域の開発も今後進んでいくと思われ、福岡の新しい核となることが期待されます。博多阪急(仮称)は、この新しい駅ビルに、営業面積約40,000㎡のターミナル型百貨店として出店を予定しています。10月には現地事務所を開設し、出店準備を進めていきます。

# 2008年度 第2四半期決算のご報告 (2008年4月1日～2008年9月30日)

## ●連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	金 額	前年同期比
売 上 高	246,659	126.5%
売 上 原 価	175,205	127.3%
販売費及び一般管理費	65,445	127.1%
営 業 利 益	6,007	101.3%
営 業 外 収 益	2,099	122.7%
営 業 外 費 用	764	86.0%
経 常 利 益	7,342	108.7%
特 別 利 益	262	154.5%
特 別 損 失	935	67.2%
税金等調整前四半期純利益	6,669	120.6%
法人税、住民税及び事業税	1,610	76.9%
法人税等調整額	1,100	344.7%
少数株主利益	11	485.1%
<b>四 半 期 純 利 益</b>	<b>3,947</b>	<b>126.6%</b>

## セグメント別業績

(単位:百万円)

	売上高 (前年同期比)	営業利益 (前年同期比)
百貨店事業	186,506 (136.5%)	4,549 (105.5%)
スーパーマーケット事業	43,522 (96.3%)	469 (93.1%)
P M 事業	4,506 (93.4%)	704 (76.1%)
そ の 他 事 業	12,122 (144.3%)	2,197 (1,246.7%)

## ●連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	金 額	前期末増減	金 額	前期末増減	
流動資産	95,593	△15,755	流動負債	83,228	△16,886
固定資産	226,681	+252	固定負債	73,029	△647
			純 資 産	166,017	+2,030
<b>合 計</b>	<b>322,275</b>	<b>△15,503</b>	<b>合 計</b>	<b>322,275</b>	<b>△15,503</b>

## 2008年度 通期業績予想 (連結)

(単位:百万円)

	金 額	前期比
売 上 高	526,800	111.7%
営 業 利 益	17,140	100.1%
経 常 利 益	18,200	100.9%
当 期 純 利 益	9,500	100.5%

注.金額は表示単位未満は切り捨て、比率等は表示桁数未満は四捨五入しております。

# 『株主優待』がスタートします！

株主の皆様の日頃のご支援にお応えするとともに、当社株式への投資魅力を高め、中長期的に株式を保有していただくこと、そして実際に当社グループの店舗・サービスをご利用いただくことにより、当社グループに対するご理解を一層深めていただくことを目的に、株主優待制度を新設いたします。2009年3月31日現在の株主名簿に記載された株主の皆様より適用させていただく予定ですので、ご期待ください。

## 基準日

毎年3月31日現在の株主名簿に記載された1単元(1,000株)以上保有の株主の皆様に対し、6月下旬に1年間有効のご優待券を送付いたします。(年1回)

## 優待内容

### 1 お買物ご優待券

当社グループの百貨店(阪急百貨店、阪神百貨店)及び食品スーパー(阪急オアシス、阪急ニッショーストア、阪急ファミリーストア)の各店舗でご利用いただけます。

#### ● 優待率

■ 百貨店 **10%**(ただし、食料品は**5%**) ■ 食品スーパー **5%**

#### ● お買物方法

1売場につき現金によるお支払額が3,150円(消費税含む)以上のお買物にご利用いただけます。

#### ● 優待対象商品

店頭販売商品(一部除外品あり)

※ [除外品] 商品券、各種ギフト券類や配送料等のサービス・手数料、レストラン・喫茶、一部指定ブランド、その他各店が指定するもの

### 2 阪急キッチンエール入会ご優待券

(株)阪急キッチンエールが運営する食料品・日用雑貨の会員制個別宅配サービス「阪急キッチンエール」への新規ご入会時にご利用いただけます。

#### ● 特典内容

■ 入会金(1,050円)無料

■ 月会費(月500円)2ヶ月分無料

■ エールポイント

1,000ポイント付与

## 発行基準

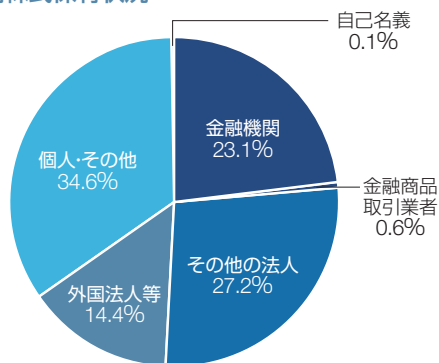
対象株主	お買物ご優待券	阪急キッチンエール入会ご優待券
1,000株以上、3,000株未満所有	10枚	1枚
3,000株以上所有	20枚	1枚
1,000株以上を連続3年以上所有	上記に10枚を追加	—

株主優待制度の詳細につきましては、後日当社ホームページ上(URL <http://www.h2o-retailing.co.jp>)でご案内するほか、ご優待券の送付時にお知らせいたします。

■発行済株式総数……………206,740,777株

■株主数……………16,473名

■所有者別株式保有状況



## アンケートへのご協力をお願い

株主の皆様にご意見・ご要望をお伺いするため、アンケートを実施させていただきます。

本アンケートは、今後のIR活動及び株主通信の誌面づくり等の参考にさせていただくものですので、ぜひご協力いただけますようお願いいたします。

なお、アンケートにご協力いただいた皆様の中から、抽選で1,000名の方に、H2Oリテイリンググループオリジナル商品「阪急プライムタイム」の商品詰合せと「アズ・ユー」ショッピングバッグのセット(2,000円相当)をプレゼントいたします。



※ショッピングバッグの色の指定はできません。

## 会社概要 (2008年9月30日現在)

社 名 エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社  
 英 文 社 名 H2O RETAILING CORPORATION  
 本 店 所 在 地 大阪市北区角田町8番7号  
 設 立 1947(昭和22)年3月7日  
 資 本 金 17,796,659,575円

ホームページアドレス

<http://www.h2o-retailing.co.jp>

## 役員 (2008年10月1日現在)

### 取締役及び監査役

代表取締役会長 兼 CEO	梶岡 俊一
代表取締役社長	若林 純
代表取締役	新田 信昭
取締役	藤 洋作
取締役	角 和夫
取締役	千野 和利
取締役	柳澤 興平
取締役	西川 秀郎
取締役専務執行役員	本田 善雄
取締役執行役員	森 忠嗣
執行役員	大野 潤一

常勤監査役	小西 敏允
監査役	高井 英幸
監査役	中川 剛
監査役	高村 順久

## 株 主 メ モ

---

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

期末配当金  
受領株主確定日 3月31日

中間配当金  
受領株主確定日 9月30日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
〒530-0004  
大阪市北区堂島浜一丁目1番5号  
TEL 0120-094-777 (通話料無料)

同 取 次 所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店  
(下記ご注意ください)

(ご注意) 株主名簿管理人の「取次所」の定めについて

株券電子化後、株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社経由で行っていただくこととなるため、株主名簿管理人の「取次所」は、株券電子化の実施時をもって廃止いたします。

なお、未受領の配当金のお支払いにつきましては、引き続き株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行の本支店でお支払いいたします。

### 【株式に関するお手続き用紙のご請求について】

株式に関するお手続き用紙(届出住所等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書等)のご請求につきましては、以下のお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。なお、株券電子化実施後は、特別口座に記録された株式についてのお手続き用紙のみとなりますので、ご注意ください。

TEL 0120-684-479 (通話料無料)

インターネットアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

公 告 の 方 法 電子公告の方法により行います。

公告掲載URL

<http://www.h2o-retailing.co.jp/koukoku>

ただし、電子公告によることができない  
やむを得ない事由が生じた場合は、  
日本経済新聞に掲載いたします。